

平成27年度の訓練実施状況

災害に備えて遠隔操縦式建設機械の操作訓練を実施しました

～無線操縦式バックホウ・土のう造成機・マシンガイダンス～

平成27年10月14～15日の2日間、四国技術事務所が防災協定を締結している建設業者等を対象にした「遠隔操縦式バックホウ操作訓練」をおこないました。

この訓練は、遠隔操縦式バックホウの技術者を養成することを目的に平成18年度から行っているもので、今年の訓練には建設業者のオペレータ18名、地整職員1名が参加しました。

当日は、一般社団法人日本建設機械施工協会（建設機械施工技術検定試験実施機関）協力の下、検定試験と同じコース内容を遠隔操縦で訓練しました。

また、土のう造成機や情報化施工機器（マシンガイダンス）の操作訓練も同時に実施しました。試験コース体験では、全員が合格点に達し、修了証が交付されました。**今回で訓練終了者が200名に達しました。**

遠隔操縦による試験コース体験

訓練の概要説明

土のう造成機による土のう作り訓練

車載カメラモニタ

マシンガイダンスを使ったバックホウの遠隔操作訓練

マシンガイダンス

※遠隔操作の感覚をつかむためにはまずは、単管材をバケットですくう練習をおこないました。